

久留米自動車工科大学校 自己点検評価

(平成 28 年度)

教育理念・教育目標・育成人材像等

1 学校の教育目標

本校は、「人間味豊かな産業人の育成」という建学の精神のもと、単なる知識、技術、教養等の修得だけではない教員と生徒、学校と保護者、生徒と保護者との相互の密接で適切な交流により養われる、豊かな人間味を備えた人材を育成することが本校の教育目標である。

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

平成 28 年度では、以下について重点的に取り組み、教育計画を行った。

- 校名を「専門学校久留米自動車工科大学校」と改めると共に、二級自動車工学科（2 年課程）、車体整備工学科（3 年課程）、一級自動車工学科（4 年課程）の 3 学科に改組を行った。
- 全学科の就職率 100%を維持するために職業理解教育や接遇マナー教育を継続した。
- 各自動車整備士資格取得率の維持・向上を図るため、国家試験対策授業を継続して行った。
- 安全・安心の学校づくりという法人の理念に基づき、本館防水塗装工事及び 2 号館屋上へ移動式粉末消火器の設置を行った。
- 一級自動車工学科卒業生に対する「高度専門士」、車体整備工学科卒業生に対する「専門士」の称号付与を追加申請し認可を得た。
- “見易さ”“使い易さ”を重視したホームページのリニューアル及びスマートフォンサイトのリニューアルを実施した。
- 奨学生事業として新たに“兄弟姉妹・親子入学支援”“既卒者入学支援”を開始した他被災者支援も行った。

3 評価項目の達成および取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、	ほぼ適切…3、	やや不適切…2、	不適切…1
学校の教育理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
学校における職業教育の特色は持っているか	④	3	2	1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
学校の教育理念・目的・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1
学科やコースの教育目標、育成人材像は、それぞれに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	③	2	1

① 課題

- ・教育理念等の周知不足

② 今後の改善方針

- ・学内（教室を含む）及び学外に教育理念等の周知を計る。

(2) 学校運営

平成 28 年度は後期実施計画（28～30）の初年度に当たり、実施計画に沿って「教育内容の充実」「学生支援体制の整備」「経営改革の推進」「学生生徒の確保」にあたり、年度中の実施計画見直し等も行った。又、後期実施計画と併せて平成 28 年度の事業計画も策定し学校運営にあたった。

評価項目	適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	④	3	2	1
運営組織や意思決定機能は、有効に機能しているか	4	③	2	1
人事等に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
教育活動等に関する情報公開が適正になされているか	4	③	2	1
システム化等により業務の効率化が図られているか	4	3	②	1

① 課題

- ・工学部と事務局における学生情報の共有化。
- ・「卒業認定の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学者選抜の基本方針」等についての検討。

② 今後の改善方策

- ・平成 30 年度以降の学生募集等に関するワーキンググループを立上げ検討を行う。
- ・工学部と事務局における学生情報共有に係る簡易システム等の導入を検討する。

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	③	2	1
教育理念、育成人材や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間確保は明確化されているか	④	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか	4	③	2	1
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われているか	④	3	2	1
関係分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
関連分野における業界との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上の取組みがなされているか	④	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

① 課題

- ・企業との連携に於ける時間が取り難い他、授業研究を行う時間も取り難い。
- ・難しい技術への教育は進んでいるが、基本的な技術教育で疎かになっている部分も見受けられる。
- ・先進技術に対する教育環境充実。

② 今後の改善方策

- ・開校日数の検討
- ・カリキュラム見直しを行うと共に、全教科のレスンプランを作成する。
- ・高度化して行く整備技術に対応して行く為に基本的な作業に関する教育内容の導入と、企業連携を図る。

(4) 学習成果

評価項目	適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
卒業生等の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

① 課題

- ・退学率の更なる低減が必要。
- ・卒業生の近況（職務状況等）を学校として充分には把握出来ていない。

② 今後の改善対策

- ・退学率の低減策として、毎年入学直後より個人面談を実施しており今後もこれを継続して行く。
- ・生活状況を含めた学生情報を職員間で共有し、退学率の低減に繋げる。
- ・卒業生に対するアンケートの実施。

(5) 学生支援

後援会については平成 28 年度に役員会 3 回（7 月・12 月・H29 年 4 月）及び総会 1 回（H29 年 4 月）を開催し、学校行事や年間の動向、後援会予算の執行状況等に関する情報の共有を図り学生支援に繋げた。又、4 月に発生した熊本地震で被災した学生 1 名（自宅半壊）への学費支援を行う事とした。

評価項目	適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
進路に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う体制はあるか	4	3	②	1
保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
高校・高等専修学校等とのキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	④	3	2	1

① 課題

- ・学生の健康管理を担う体制が不十分である。
- ・学生の相談事に対してカウンセリングできるような組織体制が不十分である。

② 今後の改善方策

- ・カウンセリングが出来る専門的な人材等の配置を検討する。
- ・法人内の人材を活用する他、入学前の健康アンケート等を実施する

(6) 教育環境

施設整備の一環として平成 28 年度には以下の事業を行い環境改善に努めた。

- ・4号館2階男子ロッカー室の老朽化した空調機（扇風機）の取替え工事を実施
- ・使用開始から28年程度が経過し館内への漏水・壁面破損等が診られた為、本館防水塗装工事を実施
- ・防火対策の整備として、2号館屋上に移動式粉末消火器設備の設置工事を実施

評価項目	適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	④	3	2	1
インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

① 課題

- ・時代に対応した機材への変更が必要である。
- ・建物等の防火対策は採られているが、職員・学生への訓練等が不十分である。
- ・防火管理組織及び消防計画は策定し関連機関に提出しているが、具体的な訓練等の実施には至っていない。

② 今後の改善方法

- ・避難訓練等について実施可能な内容を検討の上、計画を作成し、訓練を早期に実施する。
- ・実習教材（実習車両含む）等に関して更新計画（案）を作成し更新を行っていく。

(7) 学生募集

平成 28 年 4 月より「専門学校久留米自動車工学大学校」へ校名変更、学科改組（一級自動車工学科を 4 年課程、車体整備専攻科を 3 年課程の車体整備工学科へ）を行った事を踏まえ、新たな学校紹介 PV、学校案内、自動車整備士の仕事内容等を紹介するリーフレット“イマドキ”を作成すると共に、従来からの高校訪問、各種ガイダンス参加を継続して行った。又、オープンキャンパスに関しても開催回数、無料送迎バスなど見直し実施。新たな取組みとして、29 年 3 月よりスマートフォンにも対応した新しいホームページの運用を開始、入学生獲得に努めた。

評価項目	適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1
学生募集活動は、適切に行われているか	④ 3 2 1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
校納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題

- ・校名変更・学科改組といった新たな施策に取組み、広報を行ったがオープンキャンパス来場者、入学者共に前年度より減少する結果となった。
- ・「若者のクルマ離れ」「18歳人口の減少」「高校生の大学進学志向」等による学生確保の困難性増大。
- ・女子学生の確保及び在学生の教育環境整備。
- ・校名変更に関して外部への周知がまだ充分とは言えない状況である。

② 今後の改善方法

- ・28年度末にリニューアルを行ったホームページの内容をより充実させ情報発信に努める。
- ・高校生に本校の校名や魅力を伝える新たな情報発信（広報手段）方法を検討し実施する。
- ・学生募集広報について同窓会（卒業生）との連携方法を改めて検討する。
- ・学生募集の対象となる学生は毎年変わるので校名変更等のさらなるPRを行う。

(8) 財務

本校では、財政基盤的には債務が無い為、学校運営に支障はきたしていない。

会計監査等については、学内監事による「期中監査／期末監査」及び公認会計士により定期的な会計監査が適切に実施されている。

又、予算についても「当初予算案」作成後に法人本部ヒアリングを受け適正化を図ると共に、年度途中には「決算見込み調書及び補正予算案」を作成し、予算執行の適正化に努めている。

評価項目	適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 ③ 2 1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
財務について会計監査が適切に行われているか	④ 3 2 1
財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

① 課題

- ・安定的な収入確保（学生確保）、予算執行に伴う削減努力の他、教材費等に関しても見直しの検討が必要。

② 今後の改善方策

- ・学生募集等に関する短期的・中期的な方策を、今後設置するワーキンググループに於いて検討して行く。

(9) 法令遵守

法令や設置基準については、学校法人規程集及び学則に於いて定められ、当該規程等を遵守した学校運営が行われている。

学生教育に係る個人情報・事務関連情報ともサーバー管理を実施している。

評価項目	適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
自己評価結果を公開しているか	4	③	2	1

① 課題

- ・自己点検後の改善方策は出来ているが、具体的に実施されていない部分もある。

② 今後の改善方策

- ・個人情報に関する細則整備を検討し、取り纏められた規程等についてはホームページで公開して行く。